



# 念じられ 照らされて

## 戦争の時代を 「悪」からみつめる

繁田真爾



＜略歴＞  
1980年、山口県生まれ。東北大学  
研究員。日本思想史を研究。著書に「悪」と統  
治の日本近代：監獄教誨」など。

大学の授業もようやく落ち着いてきた五月中旬。以前から行って見たかった場所をようやく訪問した。国内最大の古本屋街として知られる、東京は神田神保町。そのすぐ近くにある、明治大学博物館である。目当ては、同館「刑事部門」の常設展。前身は「刑事博物館」で、主に江戸時代以降の刑罰用具などを展示する、珍しい博物館だ。

たとえば、罪人を捕縛するとき使用する捕物道具。先端がU字型で、金属の鋭い刺が30本以上取り付けられている。これで抑えられたら深傷を負いそうだ。取り調べと拷問では、「海老責」の絵図に目を奪われた。被疑者を後ろ手に縛り、上半身を極度に前屈させて、肩と両足の脛とを縛り合わせ。海老のように身を折り曲げた様子は、とても人間の姿とは思えない。18世紀フランス革命で、「人道」目的で採用された有名なギロチンはずっしりと重厚で鋭利な刃を見上げて、思わず首筋がゾクゾクした。

刑罰史の研究のために、私は各地の旧監獄や史料調査によく出かける。あるとき気が付いたのだが、人間は自分に対する罰や暴力からは本能的に逃れようとすが、他者への罰や暴力についは、どうやら（これも本能的に）興味を惹かれるものらしい。タブーや残酷性への怖いもの見たさの好奇心、といったところだろうか。

北海道の博物館網走監獄では、若い人たちのレンタカーが広大な駐車場を埋め尽くす光景に驚いた。同時に、刑罰の場であった監獄が気楽な観光地となっていることに、何とも言えない違和感も覚えた。

七月となり、今年も戦争の歴史を振り返る季節がやってきた。ロシアとウクライナ戦争が進行中の今年とはくに、単なる往年の回顧ではなく、現在の切実な課題として戦争を考える夏になりそうだ。このたびロシアは、ウクライナの「非ナチ化」などを大義に掲げて軍事侵攻を始めた。そして歴史上の戦争ではほぼ例外なく、何らかの「大義」が掲げられてきた。自国を正当化し、他国の不正義を攻撃するのが、戦争の常の姿なのである（近代日本の対外戦争もすべてそうだった）。

このような「正義」と「悪」の二分法は、子どもから大人まで理解しやすい、とても明快な図式だろう。ただしこの明快さは、私たちのものの見方や考え方を固定化し、そこに安住させる思考停止と裏腹でもある。刑罰はその典型で、裁かれる「悪」は基本的に、（裁く側の）私たちとは無関係の他者である。そしてこの二分法は戦争や刑罰に限らず、大小さまざまな集団やネット空間など、日常のいたるところにも見られる。勸善懲惡の正義を信じて疑わない私たちの「正しさ」が、他者への不寛容やバッシングを生んでいるのである。

こうしてみると戦争と日常は、意外と地続きの関係にあるともいえそうだ。だとすれば私たちは、まずは自分の日常から、この二分法とできるだけ距離をとるよう努めてみてはどうだろうか。それはおそらく、さほど難しいことではない。たと

えば「悪」とされる側の立場を想像してみる。あるいは、自分も実は「悪」の側にいるのではないかと考えてみる。そして、そもそも「悪」が存在するということに、自分も何かしら関係があるかもしれないと反省してみる。処刑道具をただ見学する傍観者から一歩踏み出して、「悪」の側に内在してみようとする想像力。それこそ、今のときも戦争が進行する現代世界に対する、ささやかだが大切な向き合い方ではないだろうか。

えは「悪」とされる側の立場を想像してみる。あるいは、自分も実は「悪」の側にいるのではないかと考えてみる。そして、そもそも「悪」が存在するということに、自分も何かしら関係があるかもしれないと反省してみる。処刑道具をただ見学する傍観者から一歩踏み出して、「悪」の側に内在してみようとする想像力。それこそ、今のときも戦争が進行する現代世界に対する、ささやかだが大切な向き合い方ではないだろうか。

### 帰敬式 (おかみそり)

本年 11/3 に高山別院において帰敬式を行います。受式される方は、「帰敬式法座」を受講いただくことになります。お申し込み、法座の詳細につきましては、お手次の寺院にお問い合わせください。

### ご坊夏まつり

8月16日(火)

開催決定!



### 飛騨御坊からの

# 桃戦林

～君は夏をどう楽しむんだっ!～

7月25日(月)

高山別院  
参加無料

午前の部 <定員30名>

9:30~12:00  
小学1・2・3年生が対象

午後の部 <定員30名>

14:00~16:30  
小学4・5・6年生が対象

申込期限：7月20日 12:00 参加お申込みはコチラから  
お問合せ：高山教務所 0577-32-0776



### リアルプラトゥーン

お寺の庭を走り回って水合戦。的当てゲームで武器をゲットし、強敵ハンターをやっつける! おもしろシャボン玉遊びもあるよ。

### 軽スポーツ大会

だれでも楽しめるちょっとめずらしいスポーツゲーム大会。チーム対抗で勝利を目指そう。

## ご坊夏の 暁天講座

8月1日(月)  
藤場俊基氏 (金沢教区常設寺住職)  
「当流の安心の一義」

8月2日(火)  
岩崎建弥氏 (元中日新聞記者)  
「戦後とともに新聞とともに」

8月3日(水)  
本明義樹氏 (大谷大学講師)  
「現代における真宗の救い」

8月4日(木)  
草野顕之氏 (元大谷大学学長)  
「法然上人と親鸞聖人の出会い」

会場：高山別院 毎朝 6:30～〔聴講無料〕

### 飛騨学場

8月1日～3日 藤場 俊基氏  
8月4日～5日 草野 顕之氏  
いずれも 9:00～12:00



仏教×グリーンケア ②1

尾角 光美

「継続する絆」と日本仏教

みなさんは日本のお盆や、お彼岸などが、海を越えてアメリカや西洋の地で、画期的な概念につな

がったことをご存知でしょうか。その名も「継続する絆」という理論です。ちなみに、今回の「継続する絆」と日本仏教というテーマは、真宗の教えにぴたりとは当て

はまらない、習俗的な「日本仏教」かもしれません。その点をご理解いただき、お読みいただけたら幸いです。

を大切に持ち続けているということについて述べられています。この理論以前、20世紀に生まれたグリーンケアに関する理論というのは「段階説」が主流といわれ、最終的に亡き人のいない世界に適應することや、新たな人生を生きていくことを「ゴール」のように見立

て、時間と共にそこに向かっているのが善しとされるような考えが広まっていた。亡き人との絆を断ち切れない人は「おかし

い」かのように見られていたのです。しかし、この理論が生まれたことで、亡くした後も、その人のことを想ったり、形見の品を大事にしたり、手紙を書いたりする

こととはおかしなことではなく、自然なこととして認められるようになったのです。

お寺だったそうです。その後日本の米系企業に就職した際に、息子を訪ねて来日。クラス氏は家族を連れて、そのお寺に滞在し、お盆の法要にも参加をされました。当時、子どもを亡くした親たちの自助グループを研究していたクラス氏は、お盆で、遺族たちが亡くな

った人を想い、ろうそくに火を灯す姿や、亡くなった後もコミュニケーションを取り続けているという情景が、アメリカの自助グループの親たちとも重なり、この理論へとつながっていったそうです。

私自身、イギリスで研究をしていた際に、欧米ではお墓参りに行く回数はまちまちで、日本のお墓参りの回数は世界を見渡しても、かなり多いほうだということを知

り、大変驚きました。いのちの授業で、日本の小学校や中学校に行つて「この一年でお墓参りをした人」と手を挙げてもらうと、コ

ロナ下であっても、8割以上の子どもたちがお参りしていました。亡くなった人とのつながり続けることを、グリーンケアという言葉がな

い時代から、日本仏教はずっと支えてきたのだらうと思います。もちろん、世界の動きと同様、日本

次号の『ひだご坊』発行は9月1日となります。

藤場芳子氏著 『女と男のナムアミダブツ』 好評につき、再販となりました。「～らしさ」とらわれがちな私たちをハッとさせてくれる一冊です。126頁 価格：800円

別院定例法座

午後1時から

3日 三日のご坊

7月 講師 日野 光洋氏 (桂林教会主管者) 講題 「生前を生きる」

28日 親鸞聖人で命日法座

7月 講師 白尾 匡氏 (長圓寺住職) 講題 「続・街道と真宗寺院」

8月 講師 佐藤 義晃氏 (了徳寺住職) 講題 「うまくいかないことだらけ」

ひだご坊

一口法話

URL: https://hidagobo.jp/sermon/ 7月1日から8月31日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

- 達 顕信氏 (教務支所主事補) 三島 多聞 (別院輪番)
窪田 純氏 (圓徳寺住職) 北條 秀樹氏 (了泉寺住職)
上清水 信男氏 (西蓮寺衆徒) 三島 大遵氏 (真蓮寺住職)
細川 宗徳氏 (蓮乗寺住職) 窪田 美幸氏 (圓徳寺坊守)

「ひだご坊一口法話」は、年間登録制で配送も行っています。2ヶ月ごとに掲載法話を無料で郵送します。申込みをご希望の方は、本誌枠外の電話番号までご連絡ください。

大谷婦人会 定例法座

7月11日(月) 8月11日(木)

講師 三島多聞 別院輪番 いずれも午後1時から

お墓のことお気軽にご相談ください。お墓の「困った」を解決します!!

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい 各種石工事

ご相談・お見積り無料!!

株式会社 奥田石材 OKUDA

0577-33-9601 高山市新宮町2498-1(新宮小学校前) 展示場・工場 高山市国府町上広瀬137-1

温度差でおこる 怖いヒートショック

寒いタイル貼の浴室をそのまま断熱リフォーム 暖かいお風呂で快適入浴

早くて安い[断熱サッシ・暖房機も含む] 高山市のバリアフリー補助金有 今年度で終了、お早めに! 上限37.5万円

60件以上の実績 [手すりも付けます] 『暖かくなった』と喜ばれています 御相談・お見積り無料 気軽にお電話下さい TEL 32-2577

高山市七日町3-102 (株)小林ベニヤ リフォーム部

慈愛・共なる灯り

高山電気工事株式会社

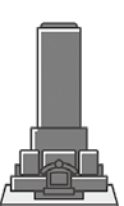


保険タイム

〒506-0059 高山市下林町916-1 ※ひだしん西高駅前支店となり TEL 0577-35-1005

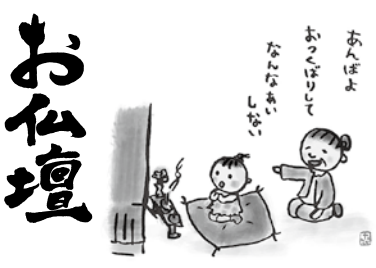
お墓の修繕

お盆前に、お墓の掃除や気になるところ 相談受付中



高山墓石店

090-7677-4883 〒506-0814 高山市滝町1362



お盆セール 開催中 8/11(木)まで

一緒に、「おみがき」しませんか? 仏具磨き教室 7/24(日) 25(月) 26(火) 午前・午後の部 各回3組 お電話でご予約ください

仏壇工芸 ほりお 高山市三福寺町369-7 TEL 0577-33-6686

久寿玉 KUSUDAMA 久すだま 平瀬酒造店 TEL 34-0010

山都印刷株式会社

高山市西之一色町二丁目九〇一八 TEL 〇五七七一三二一四九五

ブックス・アイオー 「認知症フェア」開催中! 入口そばで展開しています TEL 〇五七七一三四一七六六八